

# 宝のえにしに平幡ハ

(市内の貴重な文化財や自然などを紹介します)



## モイワラン (藻岩蘭)

筆者は、いわてレッドデータブック対象種検討のための野外調査中(1998年)、安代地区でハルニレの根元で鮮やかな紅紫色の花をつけている植物と出会いました。図鑑等で検索した結果、きわめてふつうに見かけるラン科サイハイラン(地方名・ハックリ)の葉が無い特殊型のモイワランと同定しましたが、県内初の生育確認でした。モイワは、札幌市近郊の藻岩山にちなみます。

ところが1999年国立科学博物館の遊川知久氏が、「菌寄生に強くシフトした生活史を展開し、まったくふつう葉を生じないこと」等の特徴として挙げ、日本産寄生ラン科の新種、モイワランを発表しました。サイハイランの葉が無い特殊型とされていたものが、新種として登録されたこととなります。和名はそのまま、学名は発表者により *Cremastra aphylla* Yukawa(星形の花が下向きに咲く、無葉の、命名者)と命名されました。安代地区のモイワランもこの新種と同じものです。菌寄生については、タモギタケとのかかわりの可能性が強いと言われています。

サイハイランとモイワランは同じ頃(5,6月)花が咲きますが、葉以外の外見上の違いは、モイワランは茎、花ともに鮮やかな紅紫色で、特に茎に透明感があることです。分布は北海道、本州(青森県、岩手県、長野県)、四国で、青森、岩手の両県では絶滅危惧種に指定されています。

(文・八幡平市文化財保護審議会委員 八幡輝夫)

- 《参考文献》 原色日本のラン (前川文夫著、1971年・誠文堂新光社)  
日本の野生植物Ⅰ (佐竹義輔他著、1982年・平凡社)  
筑波実験植物園・研究年報—日本産菌寄生ランの新種、モイワラン(*Cremastra aphylla*)—  
(遊川知久著、1999年・筑波実験植物園Web.)  
いわてレッドデータブック—岩手県の貴重な野生生物  
(岩手県環境生活保健部自然保護課編、2001年・岩手県)  
青森県の希少な野生生物—青森県レッドデータブック(2010年改訂版) (2010年・青森県)

## 編集後記

19年ぶりに広報の担当に戻ってきました。広報づくりもパソコンでの編集に様変わりし、鉛筆・消しゴムで作っていた「ふた昔」前とは大きく変わっていて、びっくり。でも、皆さんから手に取ってもらえる広報、明るく笑顔あふれる紙面づくりに、昔を思い出しながら、頑張っていけたらと思っています。よろしくお祈りします。(渡辺信)

4月から市長公室秘書広報係に配属になりました。主に統計業務を担当するのですが、統計業務も広報業務も初めての経験になります。果たして私に何ができるのか? 不安なところもありますが、何事も楽しむことがモットーですので、この仕事を通して、新たに会える人や出来事に期待したいと思っています。どうぞよろしくお祈りします。(佐藤)

今年度から、秘書広報係となりました。広報の経験はなく、毎日が勉強の日々です。取材は緊張ばかりですが、いつかは相手をリラックスさせるような余裕を持ちたいものです。記念すべき第150号からの担当という何かの縁ですので、頑張っていきたいと思っています。取材先で見かけた際には声をかけてください。よろしくお祈りします。(佐々木)